

良食味の 刈取り後の

「たんなん米」は “土づくり”から

○農作業で道路を汚さないように注意しましょう。

トラクター、コンバイン等の農機具を使用した農作業後に田や畑から公道へ出る際には、必ず土を落としてから走行するようにしましょう。通行の妨げになる場合もありますので、道路に土を落とした場合は、速やかに道路の清掃をしていただきますようお願いいたします。

○水稲刈取り後の除草

ミズガヤツリ・オモダカ・クログワイ・ウリカワなどの難防除雑草の多い圃場は、今年中に次の対策を実施しましょう。

<水稲刈取り後の除草剤>

農薬名	適用雑草名	使用時期・使用方法	10a当たり	
			使用薬量	希釈水量
ラウンドアップ マックスロード	1年生雑草 多年生雑草	雑草生育期 雑草茎葉散布	200~500ml 500~1000ml	50~100ℓ
クロレートS(粒)	1年生雑草 多年生イネ科雑草	雑草生育期 全面土壌散布	20~25kg	
ブリグロックSL	1年生雑草	雑草生育期 雑草茎葉散布	800~1000ml	100~150ℓ
ザクサ液剤	1年生雑草	雑草生育期 雑草茎葉散布	300~500ml	100~150ℓ

(ラウンドアップマックスロードを使用する場合)

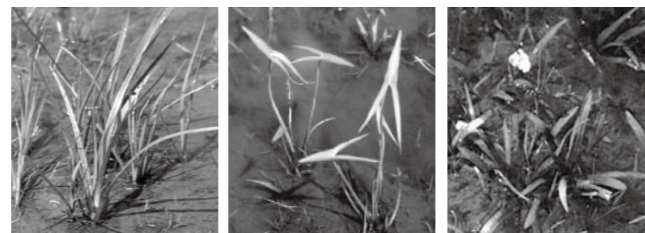
※ウリカワ、ミズガヤツリなど地下茎ができる多年生雑草は地下部から再生するので、これらの雑草が多い圃場では50倍で散布してください。(地下茎に栄養を貯めさせない)

※オモダカ、クログワイなど地下部で塊茎ができる多年生雑草は、刈取り後に葉が再生したら使用してください。(2~3年継続する)

※ヒエ、コナギ、アゼナ、クサネム、イボクサ、イヌホタルイなど種子で越冬して再生する1年生雑草は、刈取り後再生したものについては、次年度に種子を落とさせないように速やかに散布してください。また、刈取り前にヒエが発生した圃場では、次年度の中期除草剤も検討してください。

※アシカキは畦畔から進入しますので、春先からの畦畔の草刈りと除草対策を行いましょ。

※クロレートS(粒)を散布する圃場では、土壌改良資材散布との間隔を1ヶ月程度空けてください。



ミズガヤツリ

オモダカ

ウリカワ

「さばえ菜花」の種子を販売します。

鯖江市では、「さばえ菜花」の特産化を目指し、さばえ菜花米の生産や休耕田、遊休農地での栽培を推進しております。(助成金あり)

水田に播種する緑肥用(さばえ菜花米栽培)及び転作用(景観作物)の「さばえ菜花」種子(有償)をご希望の方はお申し込みください。

■予約対象/水田で「さばえ菜花」を播種・維持管理できる団体または個人

■申込方法/所定の申込書に記入し、鯖江市役所農林政策課へ提出(申込書は鯖江市役所のホームページよりダウンロードできます。JAたんなん東部・西部ふれあいセンターにも置いてあります。)

■申込期限/平成30年9月5日(水) ■種子配布/平成30年9月10日(月)~9月14日(金)

■種子代金/1,000円/kg(基準播種量2kg/10a)

※花壇や街路沿いなどに播種する景観用の種子については、9月3日(月)より鯖江市役所や地区公民館で2,000袋を無償配布する予定です。

※野菜用「さばえ菜花」の特産化も進めており、随時、種子の無償配布を行っております。配布の際は作付計画書の提出が必要です。(種子は出荷予定者のみ配布いたします。)

お問い合わせ先…鯖江市役所 農林政策課(TEL. 53-2233)



○収穫間際までの水管理(間断通水)で胴割米を防止しましょう。

5月半ば田植えコシヒカリでは、7月26日~28日を中心に出穂しており、昨年より早い生育状況となっております。出穂期以降も高温が続いており、水のない圃場では早期に枯れ上がり、胴割米の発生や粒の充実度が低く、品質低下に繋がります。収穫5日前まで間断通水を実施して根に水分と空気を供給してください。

○土づくり —健全な稲体をつくるために—

毎年、刈取り後の“土づくり”が不十分な圃場が多く見受けられます。異常気象によって、地力が低下している圃場では稲体が軟弱となり品質や収量の影響を受けやすくなり、圃場にどれだけ肥料を施肥しても最大限に利用されずムダになってしまいます。

秋起こし前に土壌改良資材(ケイカル・地力アップ28号・元氣3兄弟など)の散布で圃場に不足している養分を補いましょう。

<ケイ酸の効果>

- ①丈夫な茎・葉を形成することで、倒伏や病害虫への抵抗性を高める。
- ②根の活力発達によって、稲体を強くする。
- ③受光態勢が良くなるため登熟が向上し、米の粒張りや品質が良くなる。
- ④高温時にクーラーの役目を果たし、葉温を下げる。(稲のストレス軽減に効果)

<リン酸の効果>

- ①分けつを確保する。
- ②開花・結実を良くし、食味向上を促す。

~「ケイカル(防散)」、「地力アップ28号」の無料散布受付中!!~

JAたんなんでは、「ケイカル(防散)」、「地力アップ28号」の資材代金のみで作業料無料で散布を実施しています。散布時期は9月下旬からを予定しています。まだ申し込みをされていない方は、至急、各地区営農指導員まで散布申込書の提出をお願いします。

<個人散布の方へ>

ハナエチゼン刈取り後など9月上中旬で散布をお考えの場合は、「元氣3兄弟」がおすすめです。40~60kg/10aと少量散布で、ケイ酸、リン酸の効果だけでなく、カリ成分との相乗効果で根張りを良くし、大粒化と食味向上を促します。

~「おいしい米づくり」は「秋の田起こし」から!~

作業のポイント

1. 気温が高い10月中旬までに稲わらを鋤き込む
稲わらの腐熟を促進し、地力の維持・向上
 2. 作業速度はゆっくりと、耕深目標は15cmで
トラクターの速度は歩く速さの1/4程度が目安
 3. 田起こし前には土づくり資材を散布
「ケイカル」、「地力アップ28号」、「元氣3兄弟」で
「ケイ酸」などミネラル補給
 4. 田起こし前に水田の「水はけ」をよくする
暗渠を開ける、排水溝を細かく入れるなど
- ※早期に秋起こしができるように計画的な作業をお願いします。

